

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム

実証実験のお知らせ

「インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム」では、平成29年10月26日に開催した「第2回ピッチイベント」の結果、施設管理者が抱える課題解決の可能性が高いと判断されたシーズ技術について、次のとおり現地における実証実験を行います。

つきましては、実証実験の見学参加者を募集します。

【実証実験概要】

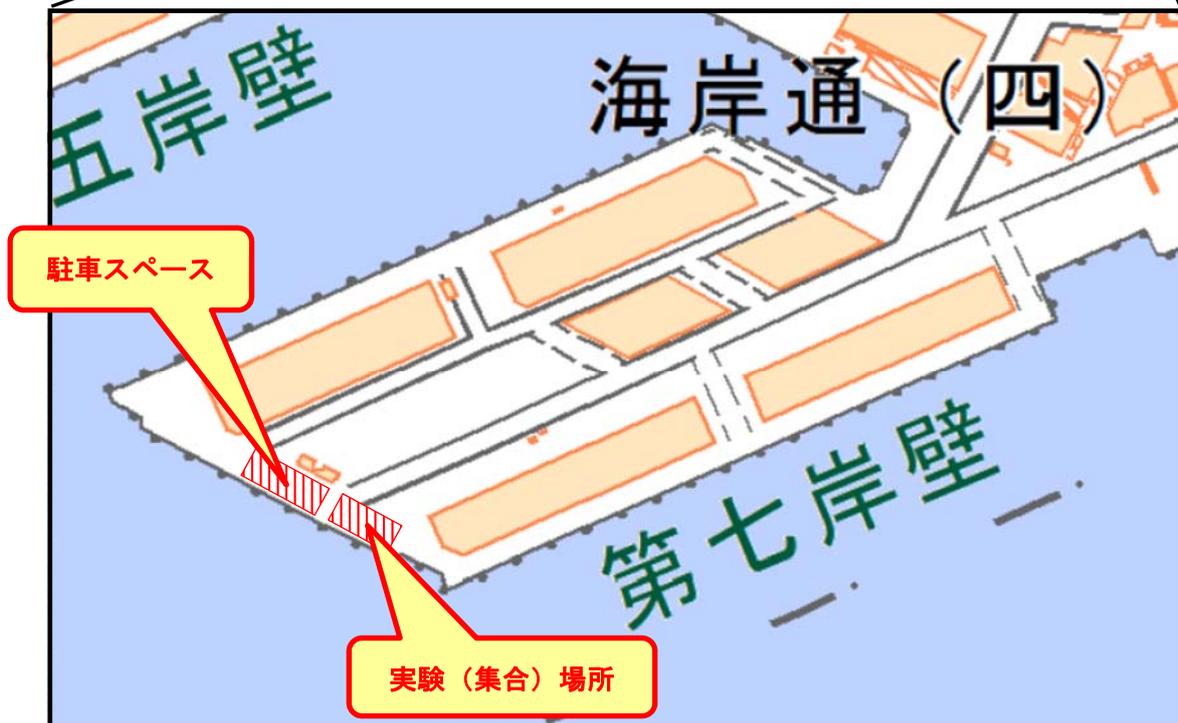
- 実験日時：平成30年9月27日（木）13：30～17：00（予定）
【13：00 受付開始】
- 実験場所：大阪市港区海岸通四丁目
大阪港 第3突堤先端物揚場（[別紙1] 実証実験位置図 参照）
- 集合場所：同上（駐車スペースあり）
- 施設管理者の課題（ニーズ）【施設管理者：大阪市港湾局】
求める技術：常時水没している構造物の点検の効率化技術
（水中部での目視点検を支援する技術）
条件：水中では濁りや浮遊物により損傷等の視認が困難
- 実験実施者：ドライ工法協会（代表者：深田サルベージ建設（株））
- シーズ技術：ドライ工法（ドライボックスを設置して陸上と同等の作業環境を構築した上での点検及び損傷箇所の補修）

【見学参加申込み】

- 参加資格：インフラメンテナンス国民会議の会員
※インフラメンテナンス国民会議の会員でない方は、申込みにあわせて
会員登録 <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/login/index.html>
をお願いします。
- 定員：50名程度（申込み先着順）
- 申込み締切：平成30年9月20日（木）12：00 まで
- 申込み及び問合せ：インフラメンテナンス国民会議近畿本部事務局
（一般社団法人 国土政策研究会関西支部）
e-mail：kansaihibu@kokuseiken.or.jp
参加希望者は別紙2「参加申込書」に必要事項を記入し、上記
アドレスに電子メールにて送付してください。
※申込み締切後、参加の可否をメールにてご案内いたします。

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 実証実験 位置図

実験（集合）場所：大阪市港区海岸通四丁目（大阪港 第3突堤先端物揚場）
Osaka Metro 中央線 大阪港駅から約2.2km
大阪シティバス 第3突堤前バス停（51系統）から約700m
※駐車スペースを確保しています。（車で来場可能）



インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 実証実験 見学参加者申込書

年 月 日

フリガナ			
企業・団体 名 称			
フリガナ			
1 申込者氏名 (参加代表者)			
フリガナ		フリガナ	
所 属		役 職	
所 在 地	〒		
メールアドレス			
電 話 番 号			
	氏 名	所 属	役 職
2 参加者			
3 参加者			
4 参加者			
5 参加者			

※ 申込は電子メールにて行ってください。(申込書を添付)

申 込 み ア ド レ ス kansaishibu@kokuseiken.or.jp

※ 申込の際の電子メールの件名は『**実証実験見学参加者申込**』として下さい。

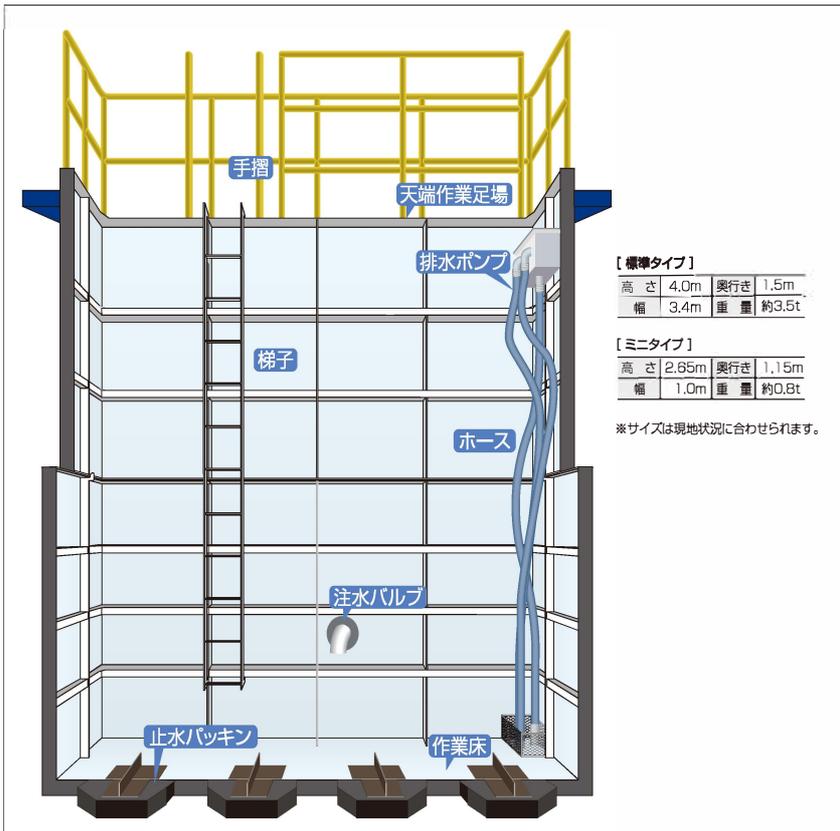
※ ご記載いただいた個人情報については、ご本人の同意なく、当実証実験以外で利用することはありません。

ドライ工法

■ 技術開発の経緯

従来から、鋼矢板護岸・岸壁・防波堤、水門等海岸構造物の点検・補修は潜水作業で行うのが一般的でした。しかし潜水作業は海洋状況(濁り、潮流、牡蠣等の付着)の影響を受けやすい事からその状況を精度よく把握することに限界があります。また海中作業に起因する作業能率・施工精度の維持が困難なことや夜間作業に危険が伴う等、作業を滞らせる課題も有しています。本工法はこれらの課題を解消すべく開発されたものです。

■ ドライ工法で使用するドライボックス (標準タイプ)



■ 施工事例(本四連絡橋: 児島～坂出ルート)



■ ドライ工法 施工手順



特 徴

- 1 腐食による肉厚減・孔食による穴開き等損傷状況の目視による正確な調査が可能です。
- 2 安全・確実で迅速な施工を実現します。
波浪・潮流・濁りの影響を受けないため夜間作業も可能です。(塗装工程: 約40%短縮)
- 3 信頼性の向上
陸上と同等の作業環境が確保されるため、施工精度が格段に向上するとともに、監督員が直接目視確認できます。
- 4 補修工事に限らず補強工事も同時に施工が可能となります。